

が疾対第 3056 号
令和 7 年 9 月 25 日

医療企画課長 殿

精神保健医療担当課長

横須賀・三浦地域における病院の事業承継に伴う病床の取扱い
について（報告）

このことについて、令和 7 年 9 月 17 日に開催された令和 7 年度第 1 回神
奈川県精神保健福祉審議会の意見等を、別紙のとおり報告します。

問合せ先

がん・疾病対策課

精神医療グループ 小佐野

電話 045-210-4727（内線 4728）

横須賀・三浦地域における病院の事業承継に伴う病床の取扱いに係る意見

神奈川県精神保健福祉審議会会長 山口 哲頭

1 会議名

令和7年度第1回神奈川県精神保健福祉審議会

2 開催日時等

- (1) 開催日時 令和7年9月17日(水) 14時00分～16時00分
- (2) 開催場所 web 開催
- (3) 出席委員 委員15名中9名出席(「出席者名簿(別添)」のとおり。)

4 当審議会意見

当審議会において湘南病院の廃止に伴う病床の取扱いについて協議した結果、横須賀市の意向も踏まえ、「原則どおり、病床を返上した場合の地域医療への影響が大きいことから、病院等の開設等に関する指導要綱第8条に定める適用除外の案件としていただきたい。」とする旨を決定した。

5 当審議会における協議概要

協議に当たり、事務局(県)からこれまでの経緯及び病床の取扱い等について、横須賀市から湘南病院の廃止による地域医療への影響について、それぞれ説明があった。

当審議会において協議したところ、次の点を踏まえ、「4 当審議会意見」のとおり意見を取りまとめた。

【委員意見】

- ・今後の人口減少を踏まえ、人口動態における病床数の過不足状況を踏まえた議論が必要。
- ・長期入院者の退院促進という観点から、病床削減により退院が進むのはよいことだと思われる。
- ・承継される湘南病院に対し、湘南鎌倉総合病院からの人的支援の状況も重要である。また、適切な経営、診療を行っていただくために行政のかかわりも重要である。
- ・今後の地域の人口動態における医療ニーズについて行政で把握し、医療機関へフィードバックすることで、医療機関の運営の一助になると考える。
- ・本審議会としては今回の承継を認めることとし、具体の承継に向けては引き続き地域の関係者等で協議を重ねながら進めてほしい。

以上